

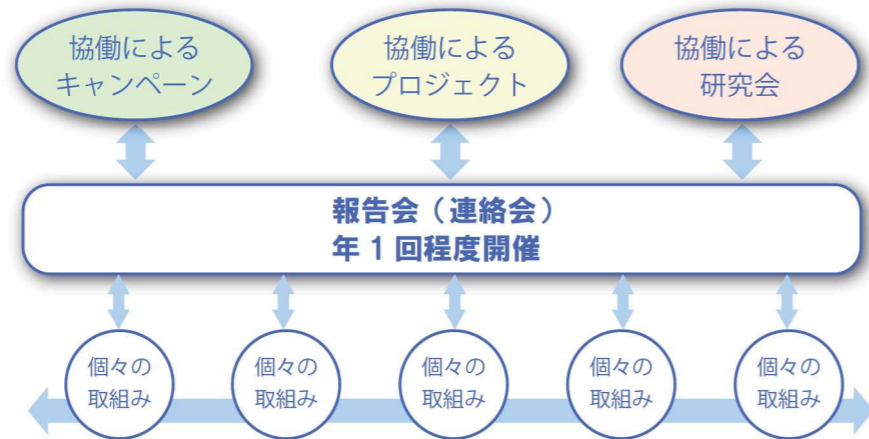
推進に向けた取組み

「市民」「事業者」「行政」が互いに連携することで、協働による継続的な活動の推進を目指す



推進に向けた体制

各実施主体が単独または連携した活動を展開するとともに、推進状況や新たな課題等を共有し、より効果の高い取組みにしていけるために、報告会（連絡会）を開催する。



協議会・勉強会の開催プロセス

	令和5年度					令和6年度					
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
協議会	協議会① 11/29 第1回 ・協議会について ・これまでの取組及びこれからの取組 ・意見交換				協議会②	3/21 第2回 ・勉強会の取組報告 ・今後の取組について				9/20 第3回 ・ビジョンのとりまとめ	協議会③
勉強会		1/19 第1回 ・対策案出し		2/8 第2回 ・対策実施主体期間の整理		4/25 第3回 ・取組内容 ・対策取組主体の確認	5/24 第4回 ・取組内容の決定 ・対策取組主体の精査		7/2 第5回 ・対策実施主体の決定 ・とりまとめ資料の作成		
警察対応	12/19 アレハ加熱状態確認実験			2/28 フェード現象重点対策路線の指定		4/12 ピラ配布 (春の交通安全運動)			7/18 ピラ配布 (夏の交通事故防止運動)		
県対応	令和5年10月末まで ・注意喚起看板設置(10基) ・路面表示設置(7箇所) ・段差舗装施工(3箇所)		側溝蓋掛け						ガードレール設置		
市対応	令和5年10月末まで ・車両用防護柵設置 ・ボラード設置(2基) ・注意喚起看板設置(1基)				ビッグデータ解析						ボラード設置

令和6(2024)年9月

ライト坂安全ビジョン



県道奥山精道線における交通安全対策の方針「ライト坂安全ビジョン」

ライト坂は、その名の由来となった建築家フランク・ロイド・ライトが設計したヨドコウ迎賓館に象徴されるように、歴史と文化が息づく特別な坂道です。六甲山麓と芦屋の市街をつなぐこの坂には、風光明媚な景観とともに、地域住民や子どもたちの明るい笑顔が日常にあふれています。

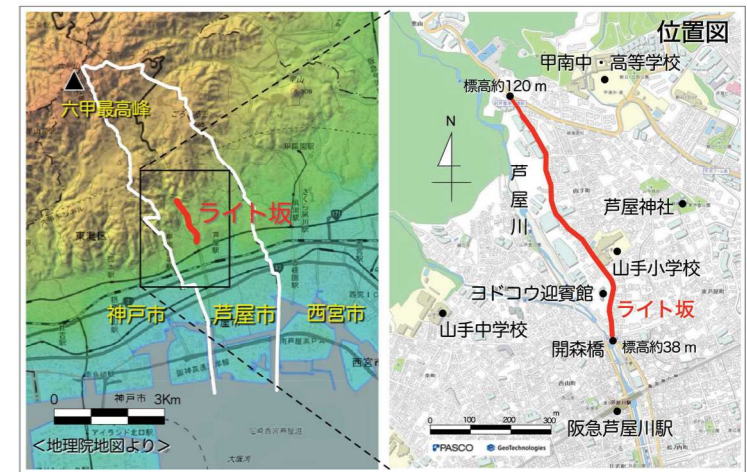
笑顔あふれるライト坂の光景は、適切な交通安全対策を実施することによって未来へと引き継がれていきます。これまで、芦有ドライブウェイを下りてきた車がライト坂に差し掛かるあたりで制御が効かなくなり、何度も大規模な事故を起こしています。それらの事故の多くは、長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けることによりブレーキが効かなくなる「フェード現象」が原因であるとも考えられています。ライト坂の安全を考えるうえでは、六甲山麓の地形、道路の構造、自動車のメカニズム、運転者の知識・技術や心理的な背景、まちの景観、地域住民の道路利用状況などの様々な要素を考えなければなりません。

2023年に、ライト坂の安全を望む市民の声がきっかけとなって「県道奥山精道線交通安全対策協議会」が立ち上がりました。この協議会には、地域住民、地元の学校園、関係団体、兵庫県、警察、芦屋市といった多様な主体が参加し、3回の協議会と5回の勉強会を開催してきました。ライト坂で悲しい事故が発生しないように、事前に、地域が一体となって対話を行いました。その議論の成果をとりまとめたのがこの「ライト坂安全ビジョン」です。

本ビジョンでは、地域・関係団体・行政と一緒に取り組む安全対策の方針としくみを示しています。それは、安全対策を講じるだけでなく、様々な立場の人びとが協働しながら、地域の絆を強化し、安全・安心なまちづくりを進めていくことも視野に入れています。また、交通事故の背景にある社会問題についても、研究し、情報を発信していくことを宣言しています。

笑顔あふれるライト坂を未来につないでいくために、みんなで力を合わせながら、コツコツと、時に大胆に取組みを進めていきましょう。

県道奥山精道線交通安全対策協議会
座長 高田 知紀
(兵庫県立大学自然・環境科学研究所)



協議会構成員

<委員>

- ・兵庫県立大学自然・環境科学研究所
- ・奥池町自治会
- ・芦屋ハイランド自治会
- ・山手町町内会
- ・旧三条小学校区内自治会・町内会
- ・山手コミュニティスクール
- ・山手中学校教育友会
- ・山手小学校 PTA
- ・山手小学校地域委員会
- ・西山幼稚園 PTA
- ・青少年育成愛護委員会
- ・「ライト坂」の交通安全対策を求める会
- ・芦屋市立山手中学校
- ・芦屋市立山手小学校
- ・芦屋市立西山幼稚園
- ・兵庫県芦屋警察署交通課
- ・兵庫県阪神南県民センター西宮土木事務所道路第2課
- ・芦屋市都市政策部都市基盤室道路・公園課
- ・芦屋市教育委員会教育部学校教育室保健安全・特別支援教育課
- ・芦屋交通安全協会
- ・兵庫県トラック協会西宮支部
- ・一般社団法人兵庫県建設業協会神戸支部

<オブザーバー>

- ・兵庫県警察本部
- ・兵庫県土木部道路保全課
- ・芦有ドライブウェイ株式会社



発行元：県道奥山精道線交通安全対策協議会

問合せ先：兵庫県西宮土木事務所 道路第2課 0798-39-6126
芦屋市都市政策部 道路・公園課 0797-38-2118

実施する取組み

長い下り坂でのフェード現象に関する安全対策

フェード現象防止の啓発
(1、2)

子どもたちを守るための交通安全対策の実施 (3)

法令での対応、機器の開発等
(4、5、6)



開森橋からライト坂を望む



事故の様子 (令和5年6月14日)

<取組み体制の種別> ◆個別取組み：個別に取り組む ◆キャンペーン：実行委員会的に取り組む ◆プロジェクト：目標・方法を具体化し協働して取り組む ◆研究開発：研究会で取り組む

取組み		着手時期 / 体制	取組み主体	摘要・例示
1 地域で啓発する	① 地域内適所で啓発活動をする	すぐにプロジェクト	奥池町自治会、芦屋ハイランド自治会、山手町町内会、旧三条小学校区内自治会・町内会、山手コミュニティスクール、甲南高等学校・中学校、山手中学校、山手中学校育友会、山手小学校、山手小学校PTA、山手小学校地域委員会、西山幼稚園、西山幼稚園PTA、青少年育成愛護委員会、「ライト坂」の交通安全対策を求める会	ポスター・ステッカーの掲示に向け、効果的な文言や表現の検討。(地域主体の活動に子どもの参画など)交通安全教育の実施。甲南中高生から小学生を対象とした出前授業の実施など。
	② 芦屋ゲート料金所等で交通安全キャンペーンを継続する	既にキャンペーン	奥池町自治会、芦屋ハイランド自治会、山手町町内会、芦屋警察、西宮土木、市道路・公園課、交通安全協会、芦有ドライブウェイ	関係団体の合同啓発活動。
	③ 地域や行政窓口で地域内での工事業者へ啓発する	既に・すぐにキャンペーン	奥池町自治会、芦屋ハイランド自治会、山手町町内会、芦屋警察、西宮土木、県道路保全課、市道路・公園課	地域：自治会ニュースでの周知や自主協定を通して業者へのチラシ配布。 行政：窓口でのチラシ配布やポスター掲示等。
2 ライト坂の状況を知らない運転手に啓発する	① 沿道の効果的な場所で啓発・警告看板の設置を検討する	既に・5年以内プロジェクト	西宮土木、市道路・公園課、芦有ドライブウェイ	効果的な啓発看板・電光掲示板等を検討。景観への配慮。
	② 建設業協会・トラック協会事務所、事業所等で関係者に啓発する	既に個別取組み	建設業協会、トラック協会	分かりやすいチラシ等。 会員事業所での掲示、下請け業者への伝達を含む。
	③ 運転免許更新センターで免許更新時に啓発する	既に個別取組み	兵庫県警	急坂運転法・エンジンブレーキ・フェード現象など(文書・映像)改良しながら継続する。
3 通学路の安全対策をする	① 小学校～開森橋で安全な通学路を確認する	既にキャンペーン	山手小学校、山手小学校PTA、山手小学校地域委員会、青少年育成愛護委員会、芦屋警察、西宮土木、市道路・公園課、市教育委員会	道路等の状況に応じ、通学路の安全性について継続的に確認する。
	② 通学路での見守りを継続する	既に個別取組み	山手小学校PTA、山手小学校地域委員会、青少年育成愛護委員会	これまでの活動の継続。地域の協力が必要。
	③ 開森橋交差点で歩行者空間の確保を検討する	すぐにプロジェクト	西宮土木、芦屋市道路・公園課	交差点東側での歩行者だまりの確保を含む。
	④ 西側歩道のガードレールの切れ目でボラードによる安全対策を行う	既に個別取組み	西宮土木	西側歩道の4カ所でボラード設置。
4 交通規制する、法制度を運用する	① ブレーキ等の事前点検を義務付ける ア 県内での義務付け イ 全国での義務付け・罰則強化	ア 既に個別取組み イ 5年以内プロジェクト	芦屋警察、兵庫県警 「ライト坂」の交通安全対策を求める会、甲南高等学校・中学校	兵庫県道路交通法施行細則の運用。 (フェード現象重点対策路線の指定) 全国展開を目指し、法律化について専門家等の支援を受けながら「求める会」から国へ提案する。
	② 待機・点検スペースの確保について検討する	既に、5年以内プロジェクト	兵庫県警、芦屋警察、西宮土木、芦屋市道路・公園課、芦有ドライブウェイ	プロジェクトで検討し、実施は県。
5 機器の開発を促す	自動車関連メーカーに、フェード現象防止のための機器開発を働きかける	5年以内研究開発	「ライト坂」の交通安全対策を求める会、甲南高等学校・中学校	国(運輸部局)の安全対策検討への参加を要請する。法制度との連携を図る。(4-①-イ) ブレーキの温度表示、フェード現象が起きないブレーキ、カーナビ・ドラレコからの注意喚起、メーカー間の連携等。
6 その他の活動	交通事故統計にフェード現象事故の項目を追加する	既に個別取組み	芦屋警察、兵庫県警	兵庫県では済み。